

第3回総計審の概要

日 時：令和6年9月18日（水）13時～14時半

場 所：議会協議会室2

出席者：臼井会長、津吉委員、近藤委員、富樫委員、伊藤委員、高梨委員、早川委員
町田部長、佐野課長、大屋主任、山田主任、関田主事

欠席者：陸永委員、福安委員

傍聴者：待寺議員ほか3名

議 事：パブリックコメントの結果
総合計画案について
答申

概 要：

(1) パブリックコメントの結果

近藤委員：意見の結果が8者15件と少ないように感じられる。前回との取組みで違いはあるのか。

大屋主任：今までの取組みは継続し、加えてLINEでの周知を図った。前回より広報は力を入れたが、少ない結果となった。

町田部長：今回と前回の違いはその計画そのもの案自体が、まずボリュームが少ないということが1点あると考えている。

特に基本計画レベルでは、具体的な施策や対応策が、前回に比べて具体性が少し欠ける部分があり、町民の方からすると捉え方が難しかったかもしれない。

臼井会長：今回の総合計画は、計画の作り方を変えていて、単位施策を記載しておらず、単年度の予算事業と実施計画を連動させている。計画のつくりを大きく変えたことを受けて、部長の言ったとおりパブリックコメントした結果もそれが一つのある現れ方として出ているという理解をするのが、概ね的外れではないと感じている。

総合計画で、個別の事業の計画を入れ込んで計画を作るのが本当に望ましいのかというときに、日常的な町の行政活動の中でもっときめ細かに意見を吸い上げて、必要なことは日々の活動の中で紹介していく、町民の日常生活上の困りごと等について、きめ細かくフォローをしながら、町の行政を進めていく。そういったかたちが実現できれば、その方がより葉山らしい計画になるのではないか。そういったことを計画のどこかにきちんと書いてあるといいかもしれない。

パブリックコメントの結果は、10月4日にHP公開済みです。

(2) 総合計画案について

① 答申書への記載について

白井会長：先ほどのパブリックコメントの際に話した、計画を活かしてもらうためには日常的な町民の声を拾い、適切にそれに対応していくことが併せて必要だという、そういうことが前提の中でこの計画の答申があるという話を、答申書の中に書かせてもらえないか。計画の中に記載するのではなく、答申書に記載するのがこの審議会からの意見として適切だと思う。

→異議なし

② イラスト（目指すまちの姿）について

近藤委員：イラストが少し残念に感じる。名島や御用邸、森戸川、下山川も描かれておらず、これが葉山町かはわからない。葉山のよさが抜けてしまっているように感じる。

佐野課長：他の事業や計画等との兼ね合いもあって、あえて地勢をぼやかした上で葉山町を表現できればと考え、このようなイラストを作ったが、ご指摘のとおりこれが果たして葉山町なのか、と言われるとわかりづらいと感じる。対応を検討したい。

そのほかイラストについては、委員より多くの意見（概ね修正の方向で）をいただきました。現在、対応を検討中です。

(3) 答申

大屋主任：答申は、本来は本日の審議会からの意見を修正したものとして出すが、委員の皆様がよろしければ、議会特別委員会が近日中にあることから、そこでの意見を加味したものを、答申の際に提出したい。

白井会長：皆さんがよろしければ、答申書や修正等については私と事務局の方へご一任いただいて、それを答申するというかたちでよろしいか。

→異議なし

答申については、11月上旬ごろを想定しています。